



北名古屋会議員

桂川将典 活動報告



ゴミ拾いウォーキング RED PENGUINSが5周年!



コロナ禍から始めたゴミ拾い。今年度で通算270回を超え、5周年になりました!

健康づくりのウォーキングを兼ねてみんなでゴミ拾い活動をしています。どなたでもぜひお気軽にご参加ください。

日時 毎週日曜日 午前8時~10時
集合 ローソン100徳重名古屋芸大駅
<https://red-penguins.com>

保育園でのおむつの保護者持ち帰り廃止が実現しました!



令和6年4月以降、園での処分になりました!!

市民と議員の意見交換会を実現



声を聞く大切な機会です。議会改革推進協議会の会長として、企画から具体化までゼロから作りました。

坂巻町内会長に就任!



今回で2回目の町内会長。なりて不足など少しでも課題を解決すべく頑張ります!

マンション適正管理の計画導入を実現しました。



放置等により、老朽化マンションが廃墟となるのを防止するための条例です。

自治体CDO補佐官に就任。現職議員として日本初!



専門性を活かし、自治体現場の最前線でDXやBPRの推進にも取り組んでいます。

北名古屋会議員

桂川将典

かつらがわ まさのり



ベッドタウンから 文化と教育の まちへ!!

「便利なベッドタウン」ではなく、
「ここに生まれてよかった」と思えるまちがいい。

多くの市民の方は、昼は名古屋で働き、夜に北名古屋へと帰ってきます。
そんな北名古屋市のイメージは「ベッドタウン」。
もちろん、現状でもいいところは沢山あります。
でも、今後も本当にそれだけでいいのでしょうか。

私は北名古屋市を、「文化」と「教育」を中心に設計した
「文教都市」にしていきたいと思っています。

今、このまちで育つ子どもたちが、将来家庭を持った時に
帰ってきたくるようなまち。一度は出て行った子どもが、
大学で遠方に行った孫が、帰ってきてくれる。そして年老いても、
病気になっても、働けなくなっても、誰もが安心して過ごせる、
快適で居心地の良いまち。

私の両親が移り住み、自分自身が生まれ育ったまち。
そしてこれから、妻と共に娘を育てていくまち、北名古屋。
北名古屋の未来への想いを込めたレターを作りました。
政策の提案をぜひ一度お読みいただき、
皆様からの様々なご意見、アイディアをお寄せください。



パパになりました!

令和3年撮影・2歳当時

桂川将典



090-8532-6156

Web <http://katsuragawa.info>
E-mail support@katsuragawa.info

桂川将典 プロフィール

昭和53年生まれの47歳、おしゃべりが止まらない5歳児に日々振り回される父。聖英学園師勝はなの樹幼稚園、師勝西小学校、熊野中学校、西春高等学校、立命館大学経済学部を卒業。システムエンジニアとして会社員生活を送ったのち、北名古屋市への合併を機にローム株式会社を退職し、27歳で初当選。現在5期目。政治活動のほか、エンジニアと市議の経験を元に総務省アドバイザー・CDO補佐官(Chief Digital Officer)として、日本全国各地の自治体DX支援に従事。ほか、取得資格として介護初任者、情報処理安全確保支援士、防災士、予備自衛官補。仕事と家事育児に忙殺され、最近の心の癒しは妻のユニークな寝言。

KEYWORD

たのしく、おもしろく、ためになる。 みんなが笑顔になれる北名古屋へ!

全ての人の暮らしを守る文化と教育

この街に生まれて47年。町が市になり、かつてよちよち歩きだった赤ん坊が今や疲労を隠せない父となり、生活の全ては子ども中心に。いつも何かに追われていてヨレヨレ…幸せではありませんが、「お願いだからパパ遊んで!」と、足元にしがみついて泣きながら懇願する娘を突き放して仕事をしなければならない時、「一体、何をしているんだろう」と酷く落ち込むこともあります。

子育てで味わう困りごとは、そのまま老後の不安にも繋がります。子連れで安心して歩けない危険な道路では車椅子も当然安心して渡れません。子どもが走り回る場所のない街は大人の健康作りのためのランニングにも不向きです。よく言われる「文化的な生活」は、大人にも子供にも不便や我慢を強いるよう

な窮屈な環境からは生まれてきません。さらに、教育面や心理的な安全性も大切です。学校に安心して預けるには、「学校教育を受ければ立派な大人になれる」という信頼が必要ですし、成人後も広義での「勉強」は続きます。子どもたちが困った時に遠慮して「助けて」と言えなければ、大人もそうでしょう。

今回は数ある政策の中から、この街の未来のために1歩ずつ必要なことの一部を、特に「文化と教育」をテーマにして集めました。他の提案も知りたい、意見や感想を伝えたい、という方は、ぜひウェブサイトの方もご確認ください。皆様の多様なご意見、ご感想をお待ちしています。

WEBはこちらをCHECK!



家事育児のサポートなど
子育て支援の充実した
暮らしやすく
誇れるまちに



ららぽーと安城の屋上施設。多くの家族で賑わっていました。

公園整備の軸を、 「管理が楽」から「楽しい」へ

従来の公園は、行政が「管理しやすい」ことを軸に最低限の整備をし、管理をするものが中心でした。一方で近年では写真のららぽーと安城や刈谷のハイウェイオアシスのように、その街のアイコンとなるような公園を民間主導で整備する例が増えていきます。官民連携で、利用者目線での「楽しい」公園が増えれば、もっと楽しい北名古屋市に。

提案その1

子どもを軸にした緑あふれる都市公園の整備



子供たちが安心して遊べる都市公園の整備を求めます。誰もが使える安心・安全で楽しい場所として、利用者目線でのデザインが必要です。また緑地や都市農業についても、次世代へ豊かな自然と心地よい居場所を繋ぐことを最優先に、誰もがほっとできる緑豊かな景観を創ります。

提案その4

昭和から令和へ。小学校区で支える「新しい地域」づくり!

町内会や子供会をやめる、役員の成り手がない。そんなご相談をよく伺います。昭和から令和の生活の変化に合わせ、自治会など組織のあり方を柔軟に捉え直し、事務作業で簡略化できるものは簡略化。誰もが無理なく関われる温かな「新しい地域」を、小学校区ごとに連携する形へ再構築します。



提案その2

街全体で子どもを育み、児童虐待ゼロのまちへ。

地域のプロや学生との交流を通じて、親や学校の先生だけでなく、行政・民間を問わず多様な大人が子どもに寄り添うことができる環境を作ります。

子どもたちが「助けて」とすぐに言える安心できる場所を広げ、育児負担を軽減し、児童虐待ゼロを目指します。



提案その5

AI時代を生き抜く!!「考える力」の育成を進めます。



否応なく押し寄せるAI時代の波。これまでの「調べ学習」をアップデートし、AIの出力結果を鵜呑みにせずきちんと疑い、議論し、正しい情報をもとに自ら検証して考えることができる、情報リテラシー(クリティカル・シンキング)教育を推進します。

提案その3

駅前の空間整備と、市のブランド価値の向上



駅前に、子供から高齢者まで全ての人々が心地よく過ごすための都市機能の集約を求めます。特に徳重・名古屋芸大駅の周辺を安全に歩行できるよう整備を進めます。また、同時に北名古屋市のブランド価値の向上により、転入者を緩やかに増やし、持続可能な街にしていきます。

提案その6

めんどくさくて大変な事務をゼロにする「スマート行政」へ。

スマホで手続きが完結する、待たせない・書かせない・来させない「市役所2.0」へ。個別に必要な支援はきちんと届く仕組みを確立し、煩雑な手続きを減らす。せっかくの余暇を潰して役所に行かなくても済むよう効率化を進め、市民と職員に「時間」と「余裕」を作ります。

